

## 2022 年度圧力真空クラブ研究会開催のご案内

NMIJ 計測クラブ 圧力真空クラブ長 梶川宏明

時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。会員の皆様には、日頃より NMIJ 計測クラブの一つである圧力真空クラブの諸活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

圧力真空クラブでは、圧力、真空、リークの計量・計測技術に関わる最新の話題について、最前線で活躍されている方々を講師としてお招きし、会員と NMIJ との技術交流を目的とした研究会を開催しております。近年、産総研では、社会課題解決に向けた研究を加速しております。今回の講演会では、圧力真空標準の整備で培った技術を活用して、有機 EL 用ガスバリアフィルムの開発を行っている先生と、医薬品や産業機器の品質管理のための基盤整備に取り組まれている方を講師にお招きしてご講演いただきます。また、基盤となるリーク標準の整備状況と供給体制をご紹介します。最後に、動的圧力計測に関する各国の研究開発状況と当グループでの取り組みについて発表いたします。

多数のご参加をお待ちしております。

日時： 2023 年 3 月 23 日(木)

講演会 13:30 - 15:50

研究室見学 15:50 - 16:50 (現地参加のみ)

会場： オンライン(Microsoft Teams)及び現地(産総研つくば中央第三事業所 3-1 棟 6F 第 3 会議室)

現地参加の場合の交通アクセス:

[https://www.aist.go.jp/aist\\_j/guidemap/tsukuba/center/tsukuba\\_map\\_c.html](https://www.aist.go.jp/aist_j/guidemap/tsukuba/center/tsukuba_map_c.html)

現地参加(研究室見学込)は、新型コロナウイルス対策のため最大 12 名程度の募集といたします。

(申し込み状況により、一社あたりの現地参加人数を調整させて頂く場合があります。)

参加費：無料

講演会プログラム <質疑応答>:

- |             |   |
|-------------|---|
| 13:30-13:40 | 開会の挨拶 及び 圧力真空標準研究グループの活動紹介<br>産業技術総合研究所 圧力真空標準研究グループ 梶川宏明   |
| 13:40-13:50 | 社会課題解決のための気体の流れの研究 ～ 透過と漏れ(リーク)の計測 ～<br>産業技術総合研究所 圧力真空標準研究グループ 吉田肇                                |
| 13:50-14:30 | ウェットプロセスによるウルトラ・ハイバリア<br>～印刷によるガラス並みのバリア膜を目指して～<br>山形大学 有機エレクトロニクスイノベーションセンター 教授 硯里善幸氏<br>休憩(10分) |
| 14:40-15:20 | 医薬品包装分野の密封性試験の考え方と参照試験片の規格化<br>株式会社フクダ 取締役 樋口泰彦氏  |
| 15:20-15:30 | NMIJ のリーク標準と供給体制<br>産業技術総合研究所 圧力真空標準研究グループ 新井健太   |
| 15:30-15:45 | 動的圧力計測の現状と当グループでの取り組み<br>産業技術総合研究所 圧力真空標準研究グループ 高原大地  |
| 15:45-15:50 | 閉会の挨拶   |

参加申し込み方法:

Formsにてお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/VgxLfKVjPX>

現地参加をご希望の方は、2023年2月24日までにお申し込みください。

希望者多数の場合は人数の調整を行い、2月中に現地参加の可否について連絡いたします。

オンライン参加をご希望の方は、2023年3月16日までにお申し込みください。

問合せ先:NMIJ 圧力真空クラブ事務局

国立研究開発法人産業技術総合研究所

計量標準総合センター

工学計測標準研究部門 圧力真空標準研究グループ

e-mail: [pres-vac\\_club\\_sec-ml@aist.go.jp](mailto:pres-vac_club_sec-ml@aist.go.jp)



講演会会場の案内図(現地参加の場合)

以上